

改善項目の名称	生徒指導要録作成の電子化		
学 校 名	県立川島中学校	担 当 名	生徒指導要録 担 当（教頭）
<p>【改善前の問題点及び状況】</p> <p>○生徒指導要録の作成にあたっては、専用用紙（「学籍に関する記録様式」及び「指導に関する記録様式」）を購入し、手書きで対応していた。</p> <p>○正副担任等の複数人による作成ではあるが、記載される内容が多岐にわたり、業務にかかる時間数は多く、正確に記載する必要のある公簿であるため、書き損じ等による訂正を避けるために細心の注意を払って記入するべきものであり、心理的な負担も大きい。</p> <p>【目標・改善内容】</p> <p>○様式が2種類あり記載される内容は多岐にわたるが、そのうちの多くの項目が、生徒連絡表や成績一覧表等、他の目的で作成される表やデータの内容と重なっている。</p> <p>○電子化によって既成データの活用を図ることにより、生徒指導要録作成業務にかかる時間の短縮を図ることができる。また、既成データもその作成時には各々2人以上でチェックをしており、電子化した後も記載内容のチェックを再度行うため、より正確な生徒指導要録の作成につながっている。</p> <p>○チェックの段階で訂正が生じたとしても、紙媒体のように初めから作成し直したり、訂正印の捺印をしたり、といった手順を踏まず、データの訂正で済むので、時間的削減も図られ、予備の用紙を購入する必要もなくなる。多額ではないが、専用用紙の購入も不要なので、用紙代印刷代も少額の経費で済ませられる。</p> <p>【改善効果】</p> <p>(①削減可能な時間) 年間おおよそ<u>100時間</u>（平成29年度1・2年生のみ） （積算） 「索引」記載0.6時間（5分×2枚×4組(1・2年)） 「学籍記録」記載15時間（15分×60人(1年)） 「指導記録」記載86時間（21.5時間×4組(1・2年)）</p> <p>(②削減可能な経費) 年間おおよそ <u>2千円</u>（A－B） （積算） A：専用用紙購入費 3,116円 B：プリンタ印刷代 450円 用紙代 577円</p> <p>(③その他の改善効果)（<u>教育の質の向上、児童生徒と向き合える時間の確保</u> 等） ・教職員の時間的負担が軽減され、教材研究等に充てる時間が増え、生徒指導や部活動を通して生徒と向き合える時間の確保につながっている。</p> <p>【改善実施日】平成29年 4月から実施</p> <p>【実施にあたっての留意点・今後の課題】</p> <p>○今後、生徒指導要録への活用が更に円滑に進むよう、既成データを作成する際に、各データ内の項目の並べ方等を工夫する。</p>			